



光星初回打者一巡

黒石・黒商 打線振るわず

得点となるソロ本塁打を打った野辺地西の小笠原（2年）ライナー性の打球を意識し、直球を狙った。同じ2年の先発・塩倉が本塁打を喜んでくれた。新チームは（柴田を含めた）スタメンの2年生3人で引っぱり、県1位になりたい。

【評】八学光星はいきなり打者一巡の猛攻。初

回に1点を先制した後、1死一、三塁から吉村、石倉、須藤、織笠の長短4連打で積み掛け、この回計6点をもぎ取った。六回にも長短5安打を集めて5点を加点。太田、小室、横山の継投で被安

【八学光星―黒石・黒石商】1回表、八学光星1死一、二塁、織笠の左中間を破る適時二塁打で6―0とリード―八戸市長根公園

打2に抑え、付け入る隙を与えなかった。黒石・黒石商は先発工藤が立ち上がりに打ち込まれ、一気に流れを奪われた。打線も振るわず14三振に終わった。

◆先発し2回5奪三振と力投した八学光星の太田（3年） 全力で投げた。捕手の織笠は六戸町大曲小からのバッテリーで、投げたいボールを投げさせてくれた。次はリリーフでもいいので自分の投球をしたい。

◆最後の六回に意地の安打を放った黒石・黒石商の柿崎（3年） 主将として「焦らず笑顔で」と声を掛けて、チーム一丸で戦った。先攻を望みだけにと取れず、試合の流れが先に相手にいつてしまい、残念。